

2022年12月1日

日本学生支援機構奨学生 各位

琉球大学学生部学生支援課奨学係
(電話：098-895-8136)

日本学生支援機構「奨学金継続願」の提出（入力）等について

「奨学金継続願」は、次年度も奨学金が必要かどうかを届け出る大切な手続きで、奨学生は年に1回、スカラネット・パーソナルを通じて必ず提出（入力）しなければなりません。

提出（入力）しない場合は「廃止」又は「停止」とされ、奨学金が交付されなくなります。

本年度の提出（入力）期間と奨学金の種類毎（給付又は貸与）の留意事項を下記にお示ししますので、「期間内の提出（全員）」及び「窓口への書類提出（給付生のみ）」について遺漏なきようお願いいたします。

記

1. 提出（入力）期間（給付・貸与共通）

- (1) 提出（入力）期間 **2022年12月15日（木）～2023年1月9日（月・祝）**
- (2) 提出（入力）可能時間帯 8：00～25：00（年末年始12/29～1/3は除く）

2. 留意事項

(1) 給付・貸与共通

① 学生生活支援情報ホームページから説明資料等をダウンロード

「画面入力に当たっての説明資料」及び「入力準備用紙」は、下記のホームページに掲載していますので、必ず確認してください。

琉球大学学生生活支援情報ホームページ

「お知らせ」又は奨学金サイト「⑪奨学金の継続手続き」参照

<https://slsi.skr.u-ryukyu.ac.jp/gksien/>



② スカラネット・パーソナルの登録（本年度新規採用者で未登録者は必須）

提出（入力）は、機構のインターネットシステム「スカラネット・パーソナル」から行います。利用初回のみ、あなたが決めたIDとパスワードの登録が必要です。

※ 登録方法の詳細は、ホームページ掲載の「説明資料」参照。

※ 奨学金申請時に利用した「スカラネット」とは別のシステムです。

③ 入力準備用紙の記入 → 継続願の提出（入力）

スカラネット・パーソナルは、1画面につき30分が経過するとタイムアウトします（それまでに入力した内容は保存されません）。

「入力準備用紙」を記入してから提出（入力）してください。

裏面へ

(2) 給付奨学生

① 奨学金窓口（共通教育棟1号館1階）へ下記の書類を提出

2023年1月10日（火）までに提出してください（提出時間帯：平日8:30～17:00）。

【新制度奨学生】（窓口の専用ボックスへ）

「**適格認定学修状況届**」（「詳細」欄も必ず記入）

※ 休止・停止中の者も提出が必要です。

※ 「教職員記入」欄は記入・確認等は不要です。

【旧制度奨学生】（窓口へ直接提出）

「**自宅外通学の認定に関する書類（写し可。自宅外通学者（寮生除く）のみ）**」

※ 提出書類の詳細は、ホームページ掲載の「説明資料」参照。

② 入力画面「D-奨学金振込みの継続の確認」の入力

次年度4月以降の奨学金の要否を確認する画面です。

- 【希望します】 ・継続を希望する場合は必ず選択
- ・4月以降「休止」する場合、現在停止中の者が引き続き「停止」する場合はこちらを選択
 - ・本人都合※で現在停止中の者が次年度から給付を希望する場合はこちらを選択し、別途窓口で「復活届」を提出

【希望しません】 本人都合※で次年度から「停止」する場合はこちらを選択

※ 他財団から給付を受けている又は他の国費を受給している等

(3) 貸与奨学生

① 入力画面「D-奨学金振込みの継続の確認」の入力

次年度4月以降の奨学金の要否を確認する画面です。

- 【希望します】 ・継続を希望する場合は必ず選択
- ・4月以降に休学するため「休止」する場合はこちらを選択

【希望しません】 次年度、奨学金の貸与を希望しない場合はこちらを選択

※ 2023年3月をもって辞退

② 入力画面「生計維持者等の昨年1年間の所得金額」の入力（学部生のみ）

【給与所得者】 2021年分の源泉徴収票（2021年1月～12月）

【給与所得者以外】 2021年分の確定申告（控）等の収入証明書

※ 詳細は、入力準備用紙及び公式ホームページ掲載の説明資料をご参照ください。

③ 入力画面「あなたの収入支出状況」の入力

※ **必ず、学生生活支援情報ホームページ掲載の入力準備用紙及び説明資料を確認したうえで提出（入力）**してください。

※ **収支差（収入-支出）が「36万円以上（大学院生は45万円以上）ある者は「減額指導（大学が6月に面談を実施）」の対象**となりますので必ず確認してください（貸与額の適正を確認するもので、減額を強制するものではありません）。